

**令和2年度長野県計画に関する
事後評価
(令和3年度実施分)**

**令和4年11月
長野県**

3. 事業の実施状況

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																															
事業名	【NO.5】 病床機能分化・連携基盤整備事業	【総事業費】 100,563千円																														
事業の対象となる区域	県全域																															
事業の実施主体	県内の医療機関																															
事業の期間	令和3年4月1日～令和5年3月31日 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 / <input type="checkbox"/> 終了																															
背景にある医療・介護ニーズ	<p>将来の医療需要に応じた医療提供体制を構築するためには、急性期から回復期への転換を推進の他、救命救急センター等の高度急性期を担う医療機関の手術機能の拡充等による、高度急性期・急性期医療の集約による質の向上や、医師不足が生じている政策医療分野の再編を進め、医療機能の分化・連携により対応するために必要な施設改修、設備整備等が急務となっている。</p> <p>アウトカム指標：病床機能毎の病床数（現時点で転換が予定されているもの）</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期</td> <td>330</td> <td>→</td> <td>296</td> <td>(△34)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,255</td> <td>→</td> <td>1,874</td> <td>(△381)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>719</td> <td>→</td> <td>1,207</td> <td>(+488)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,100</td> <td>→</td> <td>570</td> <td>(△530)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>198</td> <td>→</td> <td>86</td> <td>(△112)</td> </tr> </table>		高度急性期	330	→	296	(△34)	急性期	2,255	→	1,874	(△381)	回復期	719	→	1,207	(+488)	慢性期	1,100	→	570	(△530)	休棟等	198	→	86	(△112)					
高度急性期	330	→	296	(△34)																												
急性期	2,255	→	1,874	(△381)																												
回復期	719	→	1,207	(+488)																												
慢性期	1,100	→	570	(△530)																												
休棟等	198	→	86	(△112)																												
事業の内容（当初計画）	地域医療構想の達成に必要な再編・統合（医療機関間の再編、機能転換等）に関する施設・設備整備を支援																															
アウトプット指標（当初の目標値）	事業実施医療機関数：1病院																															
アウトプット指標（達成値）	事業実施医療機関数：1病院																															
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <table border="1"> <tr> <td>病床機能毎の病床数（R2→R3）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度急性期</td> <td>312</td> <td>→</td> <td>350</td> <td>(+38)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,171</td> <td>→</td> <td>2,187</td> <td>(+16)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>837</td> <td>→</td> <td>912</td> <td>(+75)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>866</td> <td>→</td> <td>755</td> <td>(△111)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>228</td> <td>→</td> <td>217</td> <td>(△11)</td> </tr> </table> <p>（1）事業の有効性 地域全体の医療提供体制を整えるため、不足する医療機能への転換を支援し、病床機能の見直しを進めている。</p> <p>（2）事業の効率性 医療機関への補助を行うことにより、地域医療構想達成に向けた病床転換の効率化が図られた。</p>		病床機能毎の病床数（R2→R3）					高度急性期	312	→	350	(+38)	急性期	2,171	→	2,187	(+16)	回復期	837	→	912	(+75)	慢性期	866	→	755	(△111)	休棟等	228	→	217	(△11)
病床機能毎の病床数（R2→R3）																																
高度急性期	312	→	350	(+38)																												
急性期	2,171	→	2,187	(+16)																												
回復期	837	→	912	(+75)																												
慢性期	866	→	755	(△111)																												
休棟等	228	→	217	(△11)																												

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																										
事業名	【NO.11】 医療施設等体制強化事業	【総事業費】 686 千円																									
事業の対象となる区域	県全域																										
事業の実施主体	県内の医療機関																										
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了																										
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想の達成のためには、回復期への転換を進める他、医療機関の役割に応じた高度急性期・急性期機能の集約化や一次医療の提供体制を整備していく必要がある。中山間地等で医療資源の乏しい医療圏を有する当県では、脆弱な分野の基礎的な診療機能の底上げと広域医療圏で対応する高度又は特殊な医療提供体制の整備を進めていく必要がある。</p> <p>アウトカム指標：病床機能毎の病床数（現時点で転換が予定されているもの）</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期</td> <td>330</td> <td>→</td> <td>296</td> <td>(△34)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,255</td> <td>→</td> <td>1,874</td> <td>(△381)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>719</td> <td>→</td> <td>1,207</td> <td>(+488)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,100</td> <td>→</td> <td>570</td> <td>(△530)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>198</td> <td>→</td> <td>86</td> <td>(△112)</td> </tr> </table>		高度急性期	330	→	296	(△34)	急性期	2,255	→	1,874	(△381)	回復期	719	→	1,207	(+488)	慢性期	1,100	→	570	(△530)	休棟等	198	→	86	(△112)
高度急性期	330	→	296	(△34)																							
急性期	2,255	→	1,874	(△381)																							
回復期	719	→	1,207	(+488)																							
慢性期	1,100	→	570	(△530)																							
休棟等	198	→	86	(△112)																							
事業の内容（当初計画）	<p>①診療機能の向上に資する基礎的な設備の導入支援</p> <p>②高度で特殊な医療を提供する体制を維持強化するための施設・設備整備を支援</p> <p>※上記の対象となる医療機関は次のとおり</p> <p>①県の医療計画に、5疾病5事業及び在宅医療の分野ごとに脆弱と位置付けられる医療圏で、当該分野の基礎的な診療体制を整備</p> <p>②脆弱な分野を有する医療圏と連携し、高度で特殊な医療の提供体制を整備</p>																										
アウトプット指標（当初の目標値）	実施医療機関数：1病院																										
アウトプット指標（達成値）	実施医療機関数：1病院																										
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <table border="1"> <tr> <td>病床機能毎の病床数</td> <td>(R2→R3)</td> </tr> <tr> <td>高度急性期</td> <td>312 → 350 (+38)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,171 → 2,187 (+16)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>837 → 912 (+75)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>866 → 755 (△111)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>228 → 217 (△11)</td> </tr> </table> <p>(1) 事業の有効性</p> <p>人口減少への対応を一律の病床削減ではなく、各医療圏の医療資源の整備状</p>		病床機能毎の病床数	(R2→R3)	高度急性期	312 → 350 (+38)	急性期	2,171 → 2,187 (+16)	回復期	837 → 912 (+75)	慢性期	866 → 755 (△111)	休棟等	228 → 217 (△11)													
病床機能毎の病床数	(R2→R3)																										
高度急性期	312 → 350 (+38)																										
急性期	2,171 → 2,187 (+16)																										
回復期	837 → 912 (+75)																										
慢性期	866 → 755 (△111)																										
休棟等	228 → 217 (△11)																										

	<p>況を踏まえ、脆弱な分野の底上げを図ることにより、県民がどの地域でも標準的な医療を受けることができる体制の確保につなげられた。</p> <p>オンライン診療の導入(機器の整備)により、医師少数区域において週1日だった診療日以外にもオンライン診療が受けられるようになるなど、患者の利便性が向上した。また、医師の往診負担が軽減された。</p> <p>(2) 事業の効率性</p> <p>高度医療は三次医療圏単位で確保しつつ、標準医療は二次医療圏ごとに行うといった効率的な体制を構築することができた。</p> <p>なお、事業終了後1年以内のアウトカム指標については、病床数の算定対象としている医療機関の中に、新型コロナ対応で中核的な役割を果たしている医療機関があり、休棟していた病棟をコロナ対応のため高度急性期・急性期病棟として再稼働させたため一時的に指標が悪化しているもの。コロナ禍における時限的な対応であり、地域医療構想の推進に向け影響はないものと捉えている。</p>
その他	

事業の区分	1. 地域医療構想の達成に向けた医療機関の施設又は設備の整備に関する事業																															
事業名	【NO.12】 医学的リハビリテーション施設設備整備事業	【総事業費】 327,576 千円																														
事業の対象となる区域	県全域																															
事業の実施主体	県内の医療機関																															
事業の期間	令和3年4月1日～令和4年3月31日 <input type="checkbox"/> 継続 / <input checked="" type="checkbox"/> 終了																															
背景にある医療・介護ニーズ	<p>地域医療構想により地域全体で患者を支える体制が求められている中、術後の患者が病院以外の住み慣れた地域で安心して療養生活を送るためには、理学療法士の確保・養成や複雑で多様な訓練を可能とする機器の整備が求められている。</p> <p>アウトカム指標：病床機能毎の病床数（現時点で転換が予定されているもの）</p> <table border="1"> <tr> <td>高度急性期</td> <td>330</td> <td>→</td> <td>296</td> <td>(△34)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,255</td> <td>→</td> <td>1,874</td> <td>(△381)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>719</td> <td>→</td> <td>1,207</td> <td>(+488)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>1,100</td> <td>→</td> <td>570</td> <td>(△530)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>198</td> <td>→</td> <td>86</td> <td>(△112)</td> </tr> </table>		高度急性期	330	→	296	(△34)	急性期	2,255	→	1,874	(△381)	回復期	719	→	1,207	(+488)	慢性期	1,100	→	570	(△530)	休棟等	198	→	86	(△112)					
高度急性期	330	→	296	(△34)																												
急性期	2,255	→	1,874	(△381)																												
回復期	719	→	1,207	(+488)																												
慢性期	1,100	→	570	(△530)																												
休棟等	198	→	86	(△112)																												
事業の内容（当初計画）	医学的リハビリテーションを提供する医療機関における、重度上肢麻痺患者等に用いるリハビリテーション機器の整備に対して支援する。																															
アウトプット指標（当初の目標値）	実施医療機関数：1病院																															
アウトプット指標（達成値）	実施医療機関数：1病院																															
事業の有効性・効率性	<p>事業終了後1年以内のアウトカム指標：</p> <table border="1"> <tr> <td>病床機能毎の病床数（R2→R3）</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>高度急性期</td> <td>312</td> <td>→</td> <td>350</td> <td>(+38)</td> </tr> <tr> <td>急性期</td> <td>2,171</td> <td>→</td> <td>2,187</td> <td>(+16)</td> </tr> <tr> <td>回復期</td> <td>837</td> <td>→</td> <td>912</td> <td>(+75)</td> </tr> <tr> <td>慢性期</td> <td>866</td> <td>→</td> <td>755</td> <td>(△111)</td> </tr> <tr> <td>休棟等</td> <td>228</td> <td>→</td> <td>217</td> <td>(△11)</td> </tr> </table> <p>（1）事業の有効性</p> <p>運動機能の維持や回復に資する機器を充実させることで、患者の長期入院化を防ぎ、入院から在宅医療への移行や、医療機関における回復期機能の充実を図ることができた。</p> <p>（2）事業の効率性</p> <p>長期入院の防止や、在宅移行可能な患者を増やすことは、地域医療構想の趣旨に即した取組であり、効率的な医療提供体制の確保を進めることができ</p>		病床機能毎の病床数（R2→R3）					高度急性期	312	→	350	(+38)	急性期	2,171	→	2,187	(+16)	回復期	837	→	912	(+75)	慢性期	866	→	755	(△111)	休棟等	228	→	217	(△11)
病床機能毎の病床数（R2→R3）																																
高度急性期	312	→	350	(+38)																												
急性期	2,171	→	2,187	(+16)																												
回復期	837	→	912	(+75)																												
慢性期	866	→	755	(△111)																												
休棟等	228	→	217	(△11)																												

	た。
その他	